

Q8

BCG 接種後、腋窩リンパ節腫大がみられたときは、どう対処したらよいでしょうか。

A

3カ月児にBCG接種を行い、1～2カ月後に触診するとリンパ節の腫大が認められることがあり、その頻度は約1%といわれています。大きさも大きいもので2 cm程度までで、次第に縮小し、自然に治癒します。この程度のリンパ節腫脹はBCG接種後の正常反応と考えられる範囲内のもので、異常な反応と考えなくてよいでしょう。抗結核剤の内服等の治療も必要ありません。

リンパ節の大きさは時とともに変化し、また極めてまれに瘻孔（組織が欠損して管状の穴ができること）を形成した例がありますので、経過観察は必要です。リンパ節が化膿して波動を触れるか、皮膚との癒着、瘻孔の形成、あるいは3 cmを超えるほど大きくなれば、INH（イソニコチン酸ヒドラジド）投与などの治療が必要になりますが、原則として外科手術は必要ありません。